

小学
5年

2021年6月実施

解答と解説

はじまりの2科目。

「知識」と「思考」を、まず試す。
ここから無限の可能性がひろがります。

基礎力テスト
(国・算)
+
思考力テスト
(総合型・適性検査型)

知れば、選べる



小学5年

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報じょうほうや問題かぎの条件じょうけんを正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現さいげんする

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示しじ通りの操作そうさを正しく行う

○調べる

- ・方針ほうしんを立て、考えられる場合をもれや重複じゅうごうなく全て探さがし出す
- ・書き出すことを通じて、法則ほうそくを発見する

○順序じゆんじょ立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況じょうきょうを時系列じけいれつで明らかにする
- ・複雑ふくざつな状況を要素ようそごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立きわだった部分(計算式の数、素数そすう、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいじょうせいに注目する
- ・規則きそくや周期に注目する

○一般化いっぱんかする

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式みちびを導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見ると見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定じょうきょうの状況かていを仮定する

- ・「極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足おびなを補ったり、余分よぶんを切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数ふくすうのものが移動いどうするとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答かいとうの範囲はんいや大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・想起した知識^{ちしき}を正しく運用する

○理由

- ・筆者の意見や判断^{はんだん}の根拠^{こんきょ}を示す^{しめ}
- ・ある出来事^{げんじょう}の原因^{げんいん}、結果^{けいこ}となることを示す^{しめ}
- ・現象^{げんじょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題^{しやうきやう}の状況^{じやうきやう}を図表などに表す
- ・未知^{みちり}のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数^ひと比^ひを自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・多角的な視点^{してん}で複数のこと^{くら}がらを比べる
- ・複数のこと^{くら}がらの共通点^{きゆうてん}を見つけ出す
- ・複数のこと^{くら}がらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^こ

- ・個々の要素^こによって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点^{きゆうてん}、相違点^{さういてん}に着目^{ちやくもく}して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゆうしやう}

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況^{しんじやう}や心情^{しんじやう}を取り出す
- ・ある特徴^{とくちやう}を持つもの^{しめ}を示す
- ・個々の事例^じから具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化する
- ・個々の事例^じから共通する要素^{きゆうつう}を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・情報^{じやうほう}どうしを結び付ける
- ・要素間の意味^{いみ}を捉え^{とら}、情報^{じやうほう}を補う^{おぎな}
- ・部分^{ぶぶん}と全体^{けんたい}のそれぞれが互^{たが}いに与えあ^{えい}う影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゆだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・情報^{じやうほう}をもとに、論理的^{ろんりてき}な帰結^{きけつ}を導き出す
- ・情報^{じやうほう}をもとに、未来^{みらい}・過去^{かこ}のことを予測^{よそく}する
- ・情報^{じやうほう}を活用^{かっくわ}して、さらに別の情報^{けんた}を引き出す

小学5年 基礎力テスト(国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	3087	(2)	7536	(3)	14
21		22		23	
(4)	7.95	(5)	1.06	(6)	$5\frac{2}{3}$
24		25		26	

2

(1)	1100	(2)	17 個	(3)	2.1 L
27		28		29	
(4)	9	(5)	午後3 時と 午後4 時の間		
30		(完答)31			
(6) ①	410 人	②	153400 円		
32		33			

3

(1)	(たて 300 m、横 300 m)	(2)	(たて 100 m、横 200 m)
(完答)34		(完答)35	
(3)	(たて 200 m、横 200 m、高さ 60 m)		
(完答)36			

4

(1)	6 cm	(2)	288 cm ²	(3)	8 cm
37		38		39	

国語

(国語と算数あわせて四十分)

問八	問五	問四	問三	問二	問一
ア	A		2	X	㊶
×	エ	ウ	に	イ	へんじ
イ	B		ぎ	Y	㊷
×	イ		り	イ	失望
ウ	C		が	イ	㊸
○	ウ		食		苦勞
エ	D		べ		㊹
○	ア		た		した
	問六		い		㊺
	イ		た		祝
	問七		お		
	ア		お		
			お		
			母		
			母		
			さ		
			さん		
			は		
			作		
			ん		
			な		
			か		
			っ		
			た		
			お		
			た		

(配点)
 算数①、②(1)~(5) 各2点×11=22点
 ②(6)、③(1)、④(1) 各3点×4=12点
 ③(2)、(3)、④(2)、(3) 各4点×4=16点
 国語問一、問八 各2点×9=18点
 問二、問三 各3点×4=12点
 上記以外 各5点×4=20点
 計100点

【解説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

「百の位まで」→十の位が5なのでくり上がり、1100

(2) **A1** 再現する

$$(576 - 15) \div 33 = 17 (\text{個})$$

(3) **A1** 再現する

$$0.35 \times 6 = 2.1 (\text{L})$$

(4) **A2** 情報を獲得する 再現する

ある数を にして式を立てると、 $\div 7 = 6$ あまり3 より、 $= 7 \times 6 + 3 = 45$
正しい答えは、 $45 \div 5 = 9$

(5) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

グラフのかたむきがいちばん大きな時刻は、午後3時と午後4時の間。
その差は、たての1目もりが2度であることをたしかめて、 $26 - 20 = 6$ (度)

(6) **A2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

- ① おとなの人数の合計 $= 62 + 90 = 152$ (人)
全体の人数の合計 $= 152 + 258 = 410$ (人)
- ② おとなの合計 $= 500 \times 152 = 76000$ (円)
子どもの合計 $= 300 \times 258 = 77400$ (円)
全体の合計 $= 76000 + 77400 = 153400$ (円)

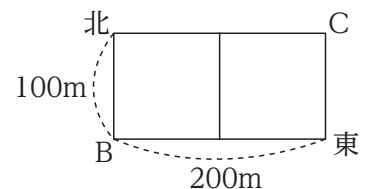
③ 位置の表し方

(1) **A1** 情報を獲得する 置き換え

C地点はA地点をもとにすると、北(たて)に300m、東(横)に300mの場所なので、
(たて300m、横300m)と表すことができます。

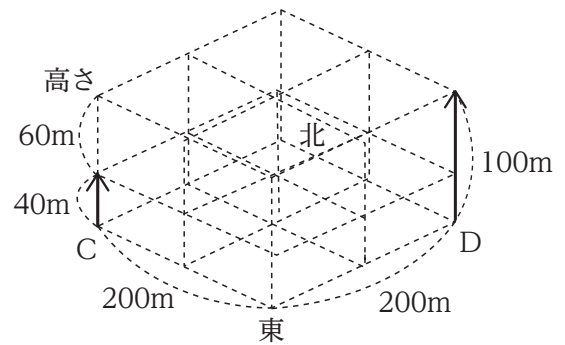
(2) **B1** 置き換え 視点を変える

B地点とC地点は右の図のような位置関係になります。
C地点はB地点をもとにすると、北(たて)に100m、
東(横)に200mの場所なので、
(たて100m、横200m)と表すことができます。



(3) **B2** 置き換え 視点を変える

C地点とD地点は右の図のような位置関係になります。
 D地点はC地点をもとにすると、北(たて)に200m、
 東(横)に200mの位置で、高さは、
 $100 - 40 = 60$ (m)の差なので、
 (たて200m、横200m、高さ60m)
 と表すことができます。



4 平面図形

(1) **A2** 再現する

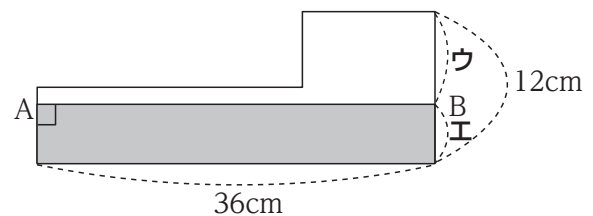
図2の図形のまわりは、アの長さ4つ分とイの長さ6つ分からなるので、 $ア \times 4 + イ \times 6 = 96$
 $イ = ア \times 2$ なので、 $ア \times 4 + (ア \times 2) \times 6 = ア \times 4 + ア \times 12 = ア \times 16$
 $ア \times 16 = 96$ なので、 $ア = 96 \div 16 = 6$ (cm)

(2) **A2** 特徴的な部分に注目する 順序立てて筋道をとらえる

$イ = 6 \times 2 = 12$ (cm)
 長方形1枚の面積 = $6 \times 12 = 72$ (cm²)
 よって、図2の図形の面積 = $72 \times 4 = 288$ (cm²)

(3) **B2** 特徴的な部分に注目する 順序立てて筋道をとらえる 視点を変える

右の図で、かげをつけた長方形の面積は、
 図形全体を2等分したものであるため、
 $288 \div 2 = 144$ (cm²)
 横の長さは、 $12 \times 3 = 36$ (cm)なので、
 たての長さエは、 $144 \div 36 = 4$ (cm)
 ウとエの長さの和は、 $6 \times 2 = 12$ (cm)
 よって、 $ウ = 12 - 4 = 8$ (cm)



【解説】

梨屋アリエ「でりばりいAge」から出題しました。わたしとケンジが八月になぜお母さんにキレたのか読みとりましょう。ケンジは自然の家に泊まりに行ったときに、自分のお母さんがおにぎりをにぎってくれなかったことにキレたのです。また、わたしはお母さんが「いい母親」になろうとしていたことが気に入らなかつたのです。

問一 A2 知識

小学五年生で書いてほしい漢字ですので、まちがった漢字は覚えておきましょう。

問二 A2 知識 関係づけ

Xの後に、「目のふちにいっぱい涙をためて叫ぶケンジ」と書かれていますので、ケンジの大きな瞳が涙でうるんでいる表現が入ります。ですから、「うるうる」があてはまります。Yには、ゴール前に行く様子を表すことばがあてはまります。Yの直前に、「あんまり情けない声を出すから」とあります。情けない声を出したのはお母さんです。本文の最後のほうにわたしとケンジの会話に、「おねえちゃん、お母さんと仲直りしたの?」、「まだ。どうして?」とありますので、わたしは「うっかり」お母さんに口をきいてしまったのです。

問三 B1 理由 具体・抽象

線部①の直後にケンジがキレた理由が書かれています。ケンジは自然の家でオバチャンたちがおにぎりをにぎってくれたのにお母さんはおにぎりをにぎってくれなかつたので、お母さんがにぎったおにぎりを食べたいと叫んだのです。

問四 A2 知識 関係づけ

②の後にお父さんは「にぎりめしか。なつかしいな。」といっているの、ひさしぶりを見るにぎりめしがテーブルの上にたくさん並んでいることにおどろいたのです。ですから、おこったときに使う「目をむいた」はちがいます。また「目をそむけた」も見たくないときに使われるので、ちがいます。「目を回す」は気を失うという意味がありますから、おどろいたときに使う「目

を丸くした」が正解になります。

問五 B1 知識 関係づけ

Dから考えていきましょう。Dの直後に「小声で冷たく答えた。やっぱ手作りは微妙に味の質が違ふよ、なんて恥ズイことを言う気になれない。むっつり黙って食べる」から、Dにはわたしの会話の「あたりまえ」があてはまることがわかります。そして、その前のCには「おねえちゃん」と呼び掛けているケンジの会話が入ることがわかります。残ったEとIの選択肢のうち、Bには、Aの会話に答えている「おお、そうさうだ」というお父さんの会話があてはまることがわかります。

問六 A2 知識 関係づけ

線部③の「途方に暮れた」は方法や手段ができてどうしてよいかわからなくなるという意味があります。そして直後に「どうしよう、こんなに残って。」とお母さんはいっていますので、Iが正解だとわかります。

問七 B1 理由 具体・抽象

線部④の直前に書かれているお母さんと友だちの会話に注意しましょう。お母さんはお母さんのお母さんつまり、わたしのおばあさんとうまくいっていないとわかります。そして、おばあさんの反面教師でお母さんはいい母親でいたと話しています。居間のドアを開けたらわたしが目の前にいたので、その会話をわたしに聞かれてしまったと思って、お母さんは恥ずかしかったのです。

問八 B1 具体・抽象 比較

Aは、わたしとお母さんの名前が逆です。Iは、「登校日から帰ると、玄関に見覚えのない女物の靴が三足あった」と書かれていますので、お母さんの友だちは三人きていたのです。Eは、本文の最後の場面に、お母さんが友だちとの会話で、お母さんと気が合わなかつたことで、「いい母親」をやっていたことや、わたしとケンジの会話で似合わない変身をやめたから許そうと思っていることがわかります。

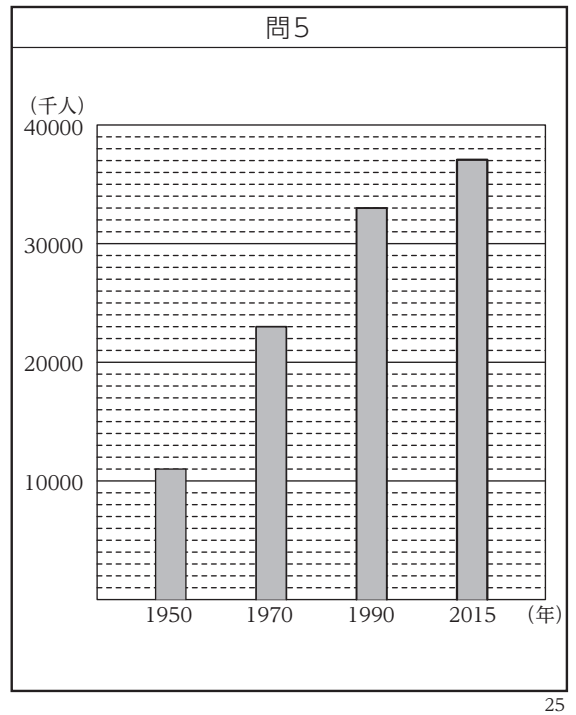
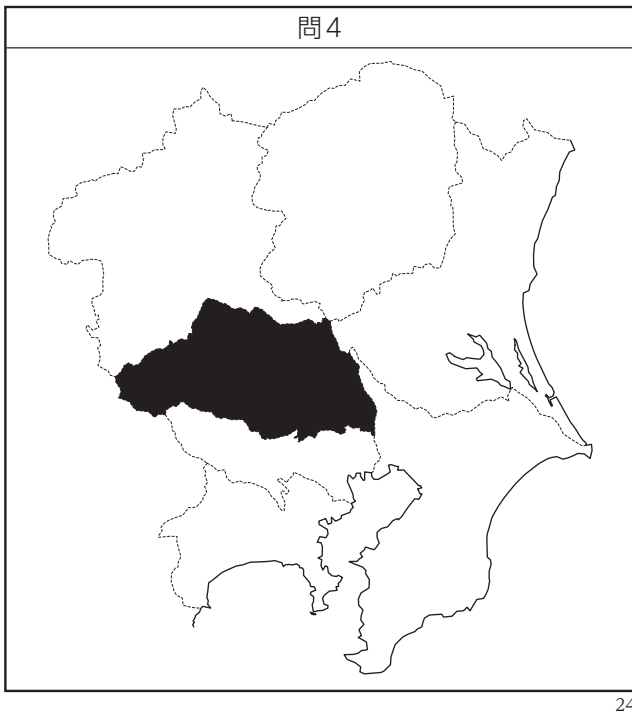
小学5年 思考力テスト — 解答と解説

1

問1
1.04
21

問2
ウ
22

問3
エ → ア → ウ → イ
(完答)23



[例] 問6

男	性	も	積	極	的	に	育	児	に	参	加	し	、	そ
う	じ	や	料	理	な	ど	の	家	事	を	手	伝	う	時
間	を	外	国	な	み	に	す	る	こ	と	な	ど	を	通
し	て	、	女	性	の	負	た	ん	を	減	ら	し	時	間
の	ゆ	と	り	を	つ	く	り	だ	し	て	、	男	女	と
も	に	働	き	や	す	い	社	会	を	つ	く	っ	て	い
く	こ	と	が	必	要	で	あ	る	。					

26

2

問1
3 まい

27

問2	
32 cm ²	64 cm ²

(完答)28

問3			
グラフ1	ア、ウ	グラフ2	オ、カ

(完答)29
(完答)30

配点
 ①問1、問2 各7点×2=14点
 問3～問5 各9点×3=27点
 問6 15点
 ②問1～問3 各8点×4=32点
 問4 12点
 計100点

問4	
イチゴ	A

理由 [例]	イチゴAの方がイチゴBよりあまく、あまい期間も長い。また、実ができる時期がイチゴAの方がイチゴBより早くて長期間収穫もできるから。
-----------	---

【解説】

①

問1 A2 情報を獲得する 再現する

1億2808万人÷1億2373万人=1.035…となり、小数第3位を四捨五入して小数第2位までののがい数で表すと、1.04となります。

問2 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 比較 推論

日本では2005年に初めて死亡数が出生数を上回り、2009年より人口の減少が始まりました。このままのペースで進むと2050年には現在より約2000万人少ない1億580万人、2100年には約5000万人少ない約7500万人になると予想されています。アの中国では2015年まで一人っ子政策が進められたことにより急速な少子高齢化が進行しています。イのスウェーデンはわずかながら出生率が死亡率を上回っています。エのインドの人口は毎年約2500万人増加していて、2027年には中国を抜いて世界一の人口を持つ国になると予想されています。

問3 B1 順序立てて筋道をとらえる 比較

エのグラフは子どもの数が多く高齢者が少ない多産多死型を示しています。イのグラフは全体の人口が少なく高齢者が多い少産少死型を示しています。日本の人口増加は多産多死型から少産少死型に変化していますので、あとはグラフの型を読み取り並べ替えます。エやアのグラフは富士山型、イやウのグラフはつば型と呼ばれています。

問4 B1 知識 比較 具体・抽象

人口密度は人口÷面積で求められます。【表1】の値から計算すると、埼玉県が1935.2人/km²、千葉県が1213.5人/km²、東京都が6345.0人/km²、神奈川県が3807.1人/km²となりますので、3番目は埼玉県になります。都道府県の形と位置は必ずしっかり頭に入れておきましょう。

問5 B1 情報を獲得する 再現する 置き換え

東京の都市圏人口のうつつりかわりを百の位で四捨五入すると、1950年が11000千人、1970年が23000千人、1990年が33000千人、2015年が37000千人になります。解答を参照。

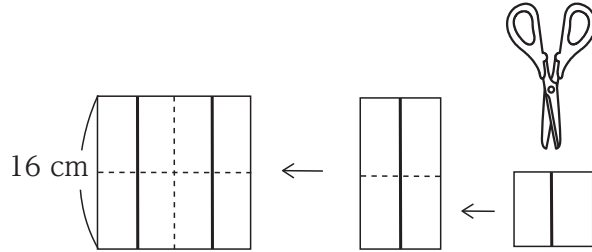
問6 C1 情報を獲得する 比較 特徴的な部分に注目する 推論 具体・抽象

あなたが考える男女平等な社会を実現するために必要な取り組みを、【表3】を参考にしてまとめます。【表3】から、日本は外国にくらべて、妻が育児にかかる時間が長いことや、夫が家事や育児にかかる時間が短いことがわかります。このことから、「男性が家事や育児をする時間をふやす」「女性の負たんを減らし、働きやすいようにする」といったような内容をまとめてみるとよいでしょう。この問題では、①必要な取り組みが具体的に書かれているかどうか、②①の理由が説明されているかどうか、③①～②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④ます目の使い方が正しいかどうか、⑤表現や表記に誤りがないかどうか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心に見ています。(ただし、50字以上80字未満の解答については①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、50字に満たない解答は①～⑥すべて採点対象としません。)

②

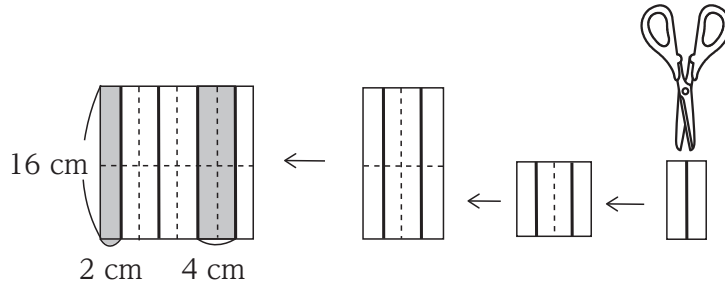
問1 **B1** **調べる** **特徴的な部分に注目する**

次の図のように、逆に開いていきます。点線が折れ線で太線が切った線です。
したがって、長方形が3まいできます。



問2 **B1** **調べる** **特徴的な部分に注目する**

問1と同じように、逆に開いていきます。2種類の大きさの長方形ができます。小さい長方形の横は8個にひとしくわかれるので、 $16 \div 8 = 2$ (cm)、大きい長方形の横は $2 \times 2 = 4$ (cm)です。
したがって、面積は、 $16 \times 2 = 32$ (cm²)、 $16 \times 4 = 64$ (cm²)



問3 **B1** **情報を獲得する** **調べる** **置き換え** **比較**

- イ：赤い部分の広さが③のときは、イチゴBよりイチゴAの方があまくなっています。
- エ：③のイチゴBは、②のイチゴAよりあまくなっています。
- キ：イチゴBの方があまいのは4月だけで、12月と2月はイチゴAの方があまくなっています。
- ク：すっぱさは、折れ線グラフで示されています。12月のイチゴAより、4月のイチゴBの方がすっぱくなっています。

問4 **C1** **情報を獲得する** **置き換え** **比較** **推論** **具体・抽象**

【グラフ1】と【グラフ2】から、イチゴAの方がイチゴBより、時期を通じてあまいことやすっぱくないこと、色が白くてもあまいことがわかります。また、図4から、イチゴAの方がイチゴBより、イチゴの実ができる時期が早くて、収穫できる期間が長いことがわかります。これらのことをまとめてみるとよいでしょう。一方で、「すっぱさをふくんだ味のイチゴが好かれている」という理由などで、イチゴBを選ぶような解答を書いてみても構いません。この問題では、①イチゴAとイチゴBのどちらを栽培したいかについての理由が書かれているか、②①に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないか、③表現や表記に誤りがないか、④2行以上で書かれているかどうかを中心に見ています。(ただし、理由が2行書かれていない解答は、すべて採点対象としません。)